

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022 年 12 月 22 日

兵庫県知事 殿

提出者

〒676-0074
住所 兵庫県高砂市梅井六丁目4番1号
J-POWERジェネレーションサービス株式会社
氏名 高砂火力運営事業所
所長 内永 浩幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 079-447-1301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	J-POWERジェネレーションサービス株式会社 高砂火力運営事業所
事業場の所在地	兵庫県高砂市梅井六丁目4番1号
計画期間	2022年4月1日から2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	3311 電気業・発電所
②事業の規模	発電機出力 250MW 2基
③従業員数	145人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り
	排出量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り
	排出量	t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の種類ごと（廃プラスチック類、がれき類、ガラスくず、燃え殻等）の保管場所を設け、各発生場所からの廃棄物を分別して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	（これまでに実施した取組） 燃え殻、ばいじん、汚泥の処分についてはセメント原料化等による有効利用を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	（今後実施する予定の取組） 現状取り組みを継続推進する。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙3の通り t	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3の通り t	
	再生利用業者への処理委託量	別紙3の通り t	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3の通り t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 燃え殻、ばいじん、汚泥の処分についてはセメント原料化等による有効利用を図っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
(今後実施する予定の取組) 現状取り組みを推進する。			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

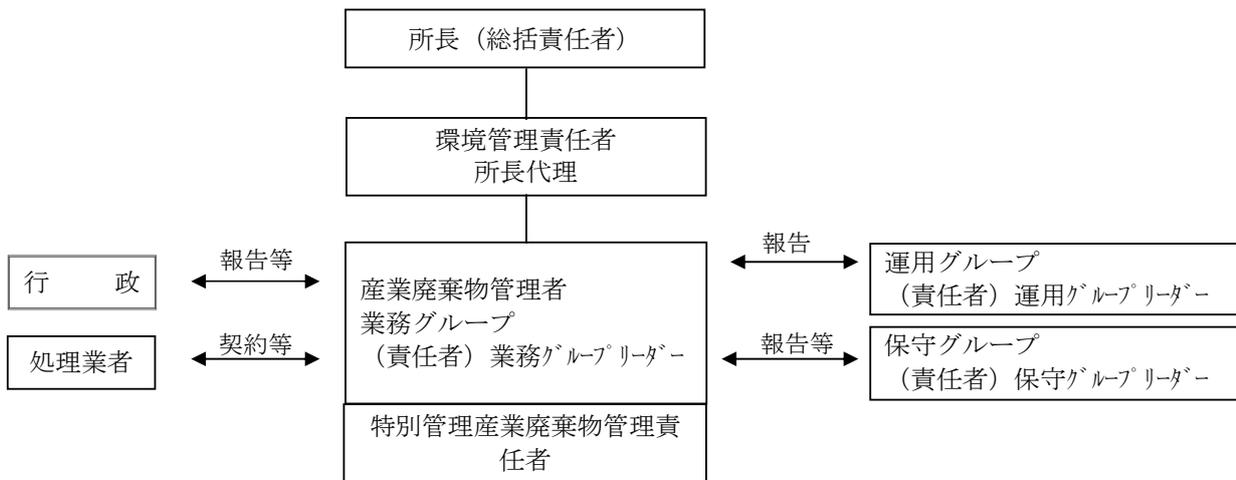
別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和3年度)実績量

計画：今年度(令和4年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑥)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻	25,379	20,880	0	0	0	0	0	0	22,667	4,154	2,712	16,726	1,407	1,158	1,390	16,726	0	0	0	0
0200汚泥	831	1,325	0	0	0	0	0	0	0	0	831	1,325	43	69	1	2	0	0	0	0
0300廃油	18	71	0	0	0	0	0	0	0	0	18	71	6	0	11	46	0	0	0	0
0400廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0500廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0600廃プラスチック類	20	29	0	0	0	0	0	0	0	0	20	29	20	26	0	0	0	0	0	0
0700紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0800木くず	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0
0900繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1000動植物性残渣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1100ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1200金属くず	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	6	18	0	0	0	0	0	0	0	0	6	18	7	18	0	0	0	0	0	0
1400鋸さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1500がれき類	1	56	0	0	0	0	0	0	0	0	1	56	1	56	0	0	0	0	0	0
1600動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1700動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1800ばいじん	101,259	83,520	0	0	0	0	0	0	18,995	166,150	82,264	66,905	54,428	44,893	82,257	66,905	0	0	0	0
2100 安定型混合廃棄物	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0
2200管理型混合廃棄物	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0
3100 廃電気機械器具	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	127,525	105,911	0	0	0	0	0	0	41662	170304	85863	85144	55923	46234	83659	83680	0	0	0	0



*** 分担**

業務グループ

- ・廃棄物に関する総括管理(委託、搬出、連絡調整、廃棄物搬出、減量化対策、対外提出書類作成・提出等)

運用グループ

- ・廃棄物に関する技術的(測定等)事項、発電所運転業務により発生する廃棄物の減量化対策に関する事項

保守グループ

- ・設備の保守業務により発生する廃棄物の分別及び減量化対策に関する事項

2021年度報告 産業廃棄物処理計画書(別紙)記載根拠

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○計画 目標

産業廃棄物の種類	燃え殻 (石炭殻)	汚泥	廃油	廃プラスチック	ガラス・ 陶磁器くず	がれき類	ばいじん (石炭灰)	鉄くず	管理型建 設混合廃 棄物	ゴムくず	鋳さい	木くず	安定型混 合廃棄物	管理型混 合廃棄物	廃電気機 械器具	合計
排出量	23,558 t	1,325 t	71 t	28 t	18 t	56 t	100,059 t	1 t	7 t	0 t	0 t	8 t	1 t	1 t	1 t	125,125 t
参考:H30(2018)年度排出量(実績)	28,556 t	1,089 t	57 t	43 t	20 t	109 t	139,170 t	0 t	25 t	-	-	-	-	-	-	169,069 t
参考:H31(2019)年度排出量(実績)	22,700 t	1,805 t	173 t	34 t	26 t	127 t	103,955 t	1 t	18 t	-	-	-	-	-	-	128,839 t
参考:R2(2020)年度排出量(実績)JP(4/1-7/31)	4,120 t	647 t	7 t	1 t	1 t	0 t	23,108 t	0 t	0 t	-	-	-	-	-	-	27,884 t
参考:R2(2020)年度排出量(実績)JPGS(4/1-N3/31)	18,475 t	693 t	16 t	28 t	23 t	40 t	71,856 t	3 t	4 t	0 t	2 t	-	-	-	-	91,137 t
参考:R3(2021)年度排出量(実績)	25,379 t	831 t	18 t	20 t	6 t	1 t	101,259 t	0 t	0 t	0 t	0 t	8 t	1 t	1 t	1 t	127,525 t
実績平均	23,558 t	1,325 t	71 t	28 t	18 t	56 t	100,059 t	1 t	7 t	0 t	0 t	-	-	-	-	125,125 t

記載根拠
過去3カ年の実績平均値を入力した。

今年度の実績の為、
実績平均は出していない。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○計画 目標

産業廃棄物の種類	燃え殻 (石炭殻)	汚泥	廃油	廃プラスチック	ガラス・ 陶磁器くず	がれき類	ばいじん (石炭灰)	鉄くず	管理型建 設混合廃 棄物	ゴムくず	鋳さい	木くず	安定型混 合廃棄物	管理型混 合廃棄物	廃電気機 械器具	合計
自ら再生利用を行う量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

記載根拠 自ら産廃再生利用を実施する見込みがない為、0tとした。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○計画 目標

産業廃棄物の種類	燃え殻 (石炭殻)	汚泥	廃油	廃プラスチック	ガラス・ 陶磁器くず	がれき類	ばいじん (石炭灰)	鉄くず	管理型建 設混合廃 棄物	ゴムくず	鋳さい	木くず	安定型混 合廃棄物	管理型混 合廃棄物	廃電気機 械器具	合計
自ら熱回収を行う量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

記載根拠 自ら産廃中間処理を行う見込みがない為、0tとした。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入に関する事項

○現状 前年度（2021年度）実績

産業廃棄物の種類	燃え殻 (石炭殻)	汚泥	廃油	廃プラスチック	ガラス・ 陶磁器くず	がれき類	ばいじん (石炭灰)	鉄くず	管理型建設 混合廃棄物	ゴムくず	鋳さい	木くず	安定型混 合廃棄物	管理型混 合廃棄物	廃電気機 械器具	合計	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った分量	22,667 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	18,995 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	41,662 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	燃え殻 (石炭殻)	汚泥	廃油	廃プラスチック	ガラス・ 陶磁器くず	がれき類	ばいじん (石炭灰)	鉄くず	管理型建設 混合廃棄物	ゴムくず	鋳さい	木くず	安定型混 合廃棄物	管理型混 合廃棄物	廃電気機 械器具	合計	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う分量	21,041 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	18,770 t	0 t	0 t	#DIV/0!	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	39,811 t

記載根拠

昨年度の実績比率から算出した。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

前年度実績(JPGS)

産業廃棄物の種類	燃え殻 (石炭殻)	汚泥	廃油	廃プラスチック	ガラス・ 陶磁器くず	がれき類	ばいじん (石炭灰)	鉄くず	管理型建設 混合廃棄物	ゴムくず	鋳さい	木くず	安定型混 合廃棄物	管理型混 合廃棄物	廃電気機 械器具	合計
排出量	25,379 t	831 t	18 t	20 t	6 t	1 t	101,259 t	0 t	0 t	0 t	0 t	8 t	1 t	1 t	1 t	127,525 t
全処理委託量⑩	2,712 t	831 t	18 t	22 t	6 t	1 t	82,264 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1 t	0 t	1 t	85,857 t
優良認定処理事業者への処理委託量⑪	1,407 t	43 t	0 t	20 t	6 t	0 t	54,428 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1 t	55,906 t
再生利用業者への処理委託量⑫	1,390 t	1 t	11 t	0 t	0.0t	0.0t	82,257.3t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	83,661 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	燃え殻 (石炭殻)	汚泥	廃油	廃プラスチック	ガラス・ 陶磁器くず	がれき類	ばいじん (石炭灰)	鉄くず	管理型建設 混合廃棄物	ゴムくず	鋳さい	木くず	安定型混 合廃棄物	管理型混 合廃棄物	廃電気機 械器具	合計
全処理委託量	20,880 t	1,325 t	71 t	28 t	18 t	56 t	83,520 t	1 t	0 t	0 t	0 t	8 t	1 t	1 t	1 t	105,911 t
優良認定処理事業者への処理委託量⑪	0 t	69 t	0 t	28 t	18 t	0 t	0 t	1 t	0 t	0 t	0 t	8 t	1 t	1 t	1 t	126 t
再生利用業者への処理委託量⑫	16,726 t	2 t	45 t	0 t	0 t	0 t	66,905 t	1 t	0 t	0 t	0 t	8 t	0 t	0 t	0 t	83,687 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
参考:優良認定業者処理委託率(%)	6%	5%	0%	99%	96%	0%	54%	90%	0 t	0%	0%	100%	100%	100%	100%	
参考:再生利用業者処理委託率(%)	5%	0%	64%	0%	0%	0%	81%	90%	0 t	0%	0%	100%	0%	0%	0%	

記載根拠(優良認定処理事業者)

- ・優良認定業者処理量及び再生利用業者処理量については前年度実績の比率から算出した。
- ・ただし、管理型建設混合廃棄物については、2021年度は発注者となることから排出量は0tとした。
- ・廃パレットの木くずは、業種問わず産業廃棄物になるので項目を加えた。